**大阪府入札監視等委員会 入札監視第１部会　平成27年度第１回定例会議　議事概要**

１　開催日時　　平成２７年６月１９日（金）午後１時30分から午後４時30分

２　場所　　大阪赤十字会館　４階　401会議室

３　出席委員　　５名

４　審議対象期間　　平成２６年１２月1日から平成２７年３月３１日まで

５　会議の概要　　審議対象期間中の、入札方式別の発注案件の状況、入札参加停止措置等の状況、談合情報等の処理状況について事務局、担当課から内容の説明を求めた上で審議を行った。

また、大阪府が契約締結した建設工事（予定価格250万円を超えるもの）、測量・建設コンサルタント等業務（予定価格100万円を超えるもの）、委託役務業務（予定価格100万円（物件の借入れについては、80万円）を超えるもの）、物品購入（予定価格160万円を超えるもの）総契約件数745件の中から次の13件を委員が任意抽出し、事案ごとに担当の発注部局から入札・契約の過程及び内容の説明を求めた上で審議を行った。

(抽出事案一覧)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 入札方式 | | 案　　件　　名 | 契約金額(円) |
| 建設工事 | 一般競争 | 一級河川　安治川（旧淀川）　水門補強工事 | 421,200,000 |
| 一般競争 | 一級河川　梅川　改修工事（中之橋上下流Ｈ２６） | 157,980,240 |
| 一般競争 | 主要地方道　伏見柳谷高槻線　檜尾川護岸改修工事（磐手橋下流左岸） | 47,077,200 |
| 一般競争 | 一般国道４８１号　長滝歩道橋耐震補強工事 | 27,000,000 |
| 一般競争 | 大阪府中央卸売市場　青果仲卸棟Ａブロック２階東側便所外１カ所改修工事 | 19,718,640 |
| 一般競争 | 阪南港海岸貝塚地区　阪南３区排水施設　自家発電設備工事 | 14,580,000 |
| 一般競争 | 南大阪湾岸流域下水道　中部水みらいセンター　砂ろ過施設漏水補修工事（Ｈ２６－１） | 10,129,320 |
| 測量・  建コン | 一般競争 | 安威川ダム　貯水池周辺保全整備概略設計委託 | 9,936,000 |
| 一般競争 | 寝屋川流域下水道　大東幹線（一）外　管渠診断委託（Ｈ２６－１） | 8,681,040 |
| 委託役務 | 一般競争 | 大阪府看護師等修学資金に係る貸付金管理及び債権管理・回収等業務（単価契約） | 32,298,480 |
| 随意契約 | 地域人づくり事業（雇用拡大プロセス）  就職支援機関を活用していない潜在求職者就職支援事業 | 98,284,496 |
| 随意契約 | 地域人づくり事業（雇用拡大プロセス）  サービス業における障がい者の就労トレーニング事業 | 11,967,000 |
| 物品 | 一般競争 | 自動陽圧型空気呼吸器ほか３件の購入 | 6,837,912 |

６　審議の結果：　抽出した13件の処理状況は概ね適正であると認める。

７　委員からの質問とそれに対する回答：　別紙のとおり

（別紙）

|  |  |
| --- | --- |
| 質問 | 回答 |
| 【一級河川　安治川（旧淀川）　水門補強工事】  予定価格の設定は、どのようにしたのか。  落札価格が予定価格に近く、落札率が高くなっているが、その理由をどのように考えているのか。  年度末になると入札参加者が少なくなると思われるが、年度当初であれば、状況は変わったのではないか。 | 予定価格は積算基準及び建設物価等を用いて算出しており、積算基準等に記載のないものは、見積を徴している。  本件では、大型の鋼製の締切の製作費と輸送費について見積を徴することとし、水門及び副水門の仮設締切部材を製作している大手３社から見積を徴取し、最低価格のものを採用した。  本件は、工事費のうち仮設費や製作費が占めている割合が大きく、その大部分を専門業者に外注するため、利益率が低いことから、落札率が高くなったと思われる。  本件は、特殊工事であり、施工能力のある対象業者が多くなく、発注の時期にかかわらず、入札参加者の状況は厳しいと考えていた。そのため、事前に各事業者へのヒアリングを行ったうえで、多くの事業者の入札参加を求めるため、入札参加の対象となるランクも拡大するなど入札参加条件の緩和措置を行った。 |
| 【一級河川　梅川　改修工事（中之橋上下流Ｈ２６）】  本件において失格者が多い理由としてランダム係数がその変動幅のうち、高めの係数が電子入札システムにより選択されたということであるが、これまでも同様のケースが少なくないため、ランダム係数の変動幅を縮小する改善策をとったと聞いたが、その効果は出ているのか。  入札参加者それぞれの入札金額に開きが出たのは、仮設材の供用日数が設計書上、明示していなかったため、各入札参加者の想定する供用日数にバラツキが生じ、それぞれの積算が大きく異なるようになったということだが、今後、仮設材の供用日数の取り扱いについて、どのようにしようと考えているのか。  本件は、実績評価型一般競争入札を採用しているが、実績評価点の１０点以上という入札参加条件は、どれだけ影響があったと考えるのか。 | 平成２７年度の案件から、ランダム係数の変動幅を１％から０．５％に縮めたところだが、ランダム係数の影響を受ける失格者が減少しているか、その効果について、検証しているところである。  ２７年度から供用日数を明示することになっている。それにより、各事業者の入札金額の幅が縮まることを期待している。  本件の対象ランクの事業者が概ね５０社であるが、この基準点を設けたことにより７０％に絞り込まれたと考えている。 |
| 【主要地方道　伏見柳谷高槻線　檜尾川護岸改修工事（磐手橋下流左岸）】  最低制限価格を下回り、失格となったものが多いが、なぜ、低い金額で入札をしたのか。 | 現場状況から本工事では一般的な工事ではあまり使わない特殊なクレーンを使用することとしている。  入札参加者の入札書に添付している入札内訳書を確認すると特殊なクレーンに関する項目の見積額と設計書の金額に大きな差があるものが多かった。このことから、この特殊クレーンに関する費用について適正に見積もられなかったと考えている。 |
| 【一般国道４８１号　長滝歩道橋耐震補強工事】  本件は結果的に一者入札になっているが、どこに問題があったと考えているのか。また、どのように直そうとしているのか。  本件は落札率が高いが、その要因として使用資材が特殊なものではないかと思われるがどうか。 | これまで発注規模が小さくなれば、入札参加者が少なくなっているが、本件のように入札参加者が極めて少なくなるのは、特例的ではないかと考えている。  今後は、事業者の受注量や技術者の配置状況を鑑み、できるだけ早期に発注したいと考えている。  本件で使用する落橋防止に要する部品は、特殊品ではないが、橋梁の大きさ、重さに応じた規格のものを発注する。そのため、本件は個別の少量発注をせざるを得ないもの。 |
| 【大阪府中央卸売市場　青果仲卸棟Ａブロック２階東側便所外１カ所改修工事】  なぜ入札参加可能のランクを複数にしているのか。  入札結果についてどのように見ているのか。  ・各事業者の管理コストは会社の規模によって異なる。Ｃ・Ｄランクの事業者であれば、管理コストもあまりかからないので、低い価格で応札してくるようになるのではないか。  本件では、結果的に失格となった。本件はＤランクでできるような案件であることから、受注意欲の高いＣ・Ｄランクの事業者が多かったことを踏まえて、Ｂランクの事業者まで拡大する必要はなかったのではないかと考える。 | これまで同様の工事については、Ｄランクを対象としていたが、入札参加者が少なく、入札不調となるケースがあったことから、本件については、Ｄランクに加えて、Ｂ・Ｃランクまで拡大し、より多くの事業者に入札参加してもらうこととした。  予定価格付近の応札者のグループが、現場近隣のＢランクの事業者であり、積算内容や実勢価格を熟知し、所要利益率を見込んだ価格で応札したと思われる。  その他の失格者等については、Ｃ・Ｄランクの事業者が多く、ヒアリングによると利益率を最低限まで下げる等、経費圧縮の努力が行き過ぎたと見られる。 |
| 【阪南港海岸貝塚地区　阪南３区排水施設　自家発電設備工事】  本件工事に参加できる事業者はどれくらいあるのか。  入札参加者が少なかった原因は何があると考えているのか  工事規模からすると、Ｃ・Ｄランクの事業者でもいいと思うが、入札参加可能ランクをＡに限定した理由は何か。 | 自家発電設備の新設又は更新工事実績等を有するＡランクの事業者は４０者程度である。  防災施設の自家発電設備工事にしては、本件の工事規模は非常に小さなものであるが、施工に要する地元調整並びに既設設備との連携などの手間は、規模の大きい発注と同等にかかること等が受注意欲を示す者が少なくなった要因と推測される。  本件工事は、規模は小さいながら、システムの設計が必要であることから、プラント電気設備工事となり、Ａランクとなる。 |
| 【南大阪湾岸流域下水道　中部水みらいセンター　砂ろ過施設漏水補修工事（Ｈ２６－１）】  辞退者、失格者が多く、失格者の応札価格もバラツキが大きいが、予定価格はどのように算出したのか。  辞退者が多いのはなぜだと考えているのか。  入札結果を見ると発注側の意図（工事の特殊性等）を理解していない業者が多いと思われる。発注側の意図を示す対策はないのか。 | 予定価格については、積算基準を基に算出しており、工事費の大部分を占める材料及び設置歩掛については、価格調査の上、算定している。  辞退者が多い要因は、作業スペースがかなり狭く、工事内容が非常に特殊であり、施工がやりづらい環境が理由だと考えている。  資材の価格については、資材価格調査機関に委託し決定しており、その価格決定に際しては、現場条件、施工条件、図面等も明示し、販売のメーカーに見積を徴取するだけでなく、施工業者にも工事価格を聞くなどチェックをし、価格決定している。今年度からは資材の見積単価を見積参考資料に記載することとしている。  規格の明示や図面の改善など、施工条件を事業者の方にわかりやすくし、見積もった単価は、今後、明示するようしていく。 |
| 【安威川ダム　貯水池周辺保全整備概略設計委託】  ２者の失格となった理由は。  また、予定価格の設定はどう設定したのか。  １３者に見積を依頼し、入札参加者が３者と少なかった理由は何か。  別の時期に発注するということは、できなかったのか。 | ランダム係数が影響し、電子入札システムにより、最低制限価格が高めに設定されたため、２者とも失格となった。  予定価格については、１３者に見積依頼を行い、提出のあった９者の見積をもとに算出した。  発注時期が年末ということもあり、技術者の確保等、履行体制が整わない業者が多かったと考えている。  ダムの本体事業を進める中で、地元調整、段階的な工事、その他調整等を考えた全体スケジュールを踏まえ、今回の発注となった。  ただ、全体スケジュール等を踏まえながら、もう少し早い時期に発注すれば入札参加者が増えたのではないかと考えている。 |
| 【寝屋川流域下水道　大東幹線（一）外　管渠診断委託（Ｈ２６－１）】  ・辞退者が多いのは、なぜか。 | 発注規模が小さく時間的制約の厳しい調査区間があったことや発注時期が少し遅れたことなどから、外注業者の確保が困難で受注体制を整えることができなかったのではないかと推測している。 |
| 【大阪府看護師等修学資金に係る貸付金管理及び債権管理・回収等業務（単価契約）】  予定価格の設定はどのように行われたのか。  業務内容が債権回収だけでなく長期にわたる情報管理が必要な附帯業務を一体にしたのは、なぜか。 | 予定価格については、従来、大阪府で行っていた業務なので、年間業務量を設定し、債権回収事業者から徴した参考価格の見積をもとに算出した。  看護師等修学資金貸付制度は、同資金貸与者が看護学校等を卒業後に所定の病院等に勤務開始しなかった場合等、返還事由に該当した際、返済を求めることとしているが、所定の病院等に勤務した場合は返済を猶予し、５年間継続して勤務した場合は返済を免除することとしている。  このため、本件業務は、滞納債権の回収業務だけでなく、同資金貸与者が看護学校等を卒業後、所定の病院に勤務しているか否か５年間にわたってその状況を把握し、貸付金の返済義務の発生した者から返済を求めることから、当該制度を効率的、効果的に行うためには、包括的に業務を委託する必要があると考えた。 |
| 【地域人づくり事業（雇用拡大プロセス）就職支援機関を活用していない潜在求職者就職支援事業】 |  |
| 【地域人づくり事業（雇用拡大プロセス）サービス業における障がい者の就労トレーニング事業】  契約金額をどのように決めたのか。 | 大阪府地域人づくり事業（雇用拡大プロセス）実施のガイドラインに示されているルールに従い、受注者と調整の上、契約金額を決定した。 |
| 【自動陽圧型空気呼吸器ほか３件の購入】  一者入札となった理由についてどう考えている。 | 本件呼吸器の製造メーカーに確認したところ、この器具を取り扱っており大阪府に入札参加資格を登録している事業者が、複数いることを確認しており、今回についても複数の入札があるものと想定していたが、一者入札ということになった。  一者入札となった特別の原因は見当たらない。 |